



あしたの夢をともに実現

2018年度（2018年1月～12月）活動報告

NPO 法人 Ashita は 2018 年 12 月末に 6 回目の決算期を迎えました。皆さまからの温かいご支援のもと、今日まで東日本大震災の被災地の高校生たちへの支援活動を続けることができました。心より御礼申し上げます。

震災から既に 8 年が経ちます。生徒たちが新たな環境を受け入れ、米国の学生との国際交流を通して、積極的に関わっていく姿勢が数多く感じられました。スカイプや米国でのワークショップは、異なった文化・環境の人との出会いを通じて、視野を広げ、社会問題に理解を深めるのに非常に役立っている事を実感しております。この素晴らしい機会を 1 人でも多くの生徒たちに届けられるように、これからも微力ながら関わっていきたいと考えております。

2019 年 4 月 Ashita 理事一同

■ 「Express Yourself! 2018」ワークショップ 2018 年 7 月 22 日～7 月 30 日



「楽しみながら英語を学び、会話、スピーチ、演劇など通じて自分を最大に表現しよう!」。日米両国の高校生と一緒に米国のニューヨーク市ホーレスマンスクールのキャンパスで 1 週間を過ごすワークショップは 5 年目を迎えました。ワークショップには、福島県立磐城高校、宮城県気仙沼高校（他に英語教諭が 1 名）および仙台育英学園高校の 23 名とホーレスマンスクール生 10 名が参加しました。午前中は会話や発表中心の英語のワークショップ。最初是一言も発しなかった日本の高校生は、活発なホーレスマンの生徒たちに刺激され、段々自信をもって英語で発言するようになりました。午後はホーレスマン演劇担当教諭 2 名の指導のもとで本格的な英語劇の練習をしました。また、音楽、ダンス、中国語、そしてダイバーシティの模擬授業も経験しました。そして、プログラム最終日

には、関係者・支援者を招いて、スピーチと日本民話の英語劇「一寸法師」と「十二匹の動物」で5日間の成果を発表。

宿泊先は同校隣のマンハッタン・カレッジの学生寮。ホーレスマンスクール生、Ashita スタッフと寝食を共にし、文化や言語を越えて人と人との絆を深めました。この絆が将来にわたって両国学生の大きな財産になればと期待しています。

放課後にはコロンビア大学のキャンパスの訪問、巨大ショッピング・モール訪問、校内でのスポーツ大会とバーベキューなど、常にアメリカの高校生と行動を共にし、さまざまな考え方を知り、そして素晴らしい思い出を作りました。又、週末には在校生や支援者宅に泊まり、米国の家庭生活を経験するほか、それぞれのホストファミリーが家族の一員として受け入れ、アメリカ人の生活の一部も知ることもできました。

■スカイプによる国際交流



仙台育英学園高校のスカイプ・セッション光景

Ashita 現地スタッフと Yale 大学学生



震災直後に開始したスカイプ（インターネット上のビデオ電話）による交流を週1回、始業時間前に継続して行っています。2018年10月の米国の新学期から2019年4月まで、磐城高校12名、福島工業高等専門学校9名、気仙沼高校12名、仙台育英学園高校27名、Ashita 同窓会の大学生が4名、計64名もの学生が参加しています。アメリカ側は、イエール大学をはじめ、デューク大学、コロンビア大学、コーネル大学等の25名、ホーレスマンスクール、ピングリーの高校から9名、計34名がボランティアとして参加し、お互いの絆を深め、英会話を通してお互いの夢や異文化や考え方の違いを実感しています。日本の各学校の先生方も積極的にサポートしてくださっています。

2019年度は、アメリカからのスカイプ・セッションボランティア学生の夏期日本語学校への来日に併せて、6月10日から被災地の各学校を訪問して、友情を深める予定です。また、10月からはスカイプ・セッションを継続して実施します。なお、夏休みに毎年実施しているアメリカでのワークショップ Express Yourself は、2019年度は残念ながら実施しませんが、来年度以降に米国および日本での開催も検討しています。改めて今年度もご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。